

学級指導資料 急性出血性結膜炎ってなあに？

1. 急性出血性結膜炎とは

1969年(昭和44年)の夏、アメリカの人工衛星アポロ11号が月の着陸を終えて、地球への帰還で人々が熱狂・興奮していた時代、アフリカのガーナを起点として『急性出血性結膜炎』が世界的に大流行した。「アポロ11号が月から病原体を持ち込んだ」というデマが浸透され、俗にアポロ病と呼ばれるようになった。その後日本人科学者によって原因ウイルスが発見された。

県内でも、南部保健所において、急性出血性結膜炎の患者報告数が急増していて、今後、県内全体に流行が拡大することも予想されるため、急性出血性結膜炎警報が発令された。

2. なにが原因なの？

・エンテロウイルス、コクサッキーウイルスが目(結膜)に感染することで発症する。



3. どんな症状がでるの？

・急な発症。眼痛、結膜充血、目やにが主な症状。片眼発症後、1両日以内に他眼にも発症する。
・1週間ほどで治癒する。潜伏期間は1. 2日。

4. どうやって感染するの？

・接触感染。感染力は強い。家族内や学校内などで、ハンカチやタオルの共用、また、感染した人が触れた物を介して感染する。

5. 予防と対策はどうやってするの？

- ①目に触れない
- ②目に触った手は、流水と石けんでよく洗う。
- ③目に触れる物は、共用しない
- ④目やにはティッシュペーパーなどで拭いて捨てる
- ⑤眼帯は原則として使わない(眼帯は細菌の温床となるので使わない方がよい。)
- ⑥患者に近づかない



感染した人の目や顔を触った手で触れた物を介して感染するので、患者の触れた物は80%消毒用エタノールでふく。身近に患者がいる場合は、顔や目を触る前に、石けんでしっかり手を洗う。その後、消毒エタノールで消毒すればより安全である。ウイルスは熱や乾燥に弱い。

※ 学校保健安全法で出席停止。第3種：医師により伝染の恐れがないと認めるまで。



学校で伝染病が出ると、すぐ広がります。
もしかして？と思ったら、自己判断せず保健室に来て下さい。
自分自身も予防し、また、人にうつさない心配りも大事です。